



1_ 神明社神輿渡御 2_ 白石市消防団伝統階子乗り隊の磨き上げられた勇敢な演技 3_ 開祭式の書道パフォーマンスで書かれた「春」 4~8_ 大人も子どもも3年ぶりのまつりを存分に楽しんでいました 9_ 50kgの米俵を運ぶ米俵相撲 10_ 山田市長が騎馬武者として参列！ 11_ 甲冑工房「片倉塾」 12_ よさこい走乱白石城が躍動感ある演舞を披露 13_ 山崎パニラさんと田村直也さんのクロストークで会場が盛り上がりました 14_ 片倉鉄砲隊の火縄銃一斉射撃。迫力のある銃声に会場がどよめく！

晴 天に恵まれた5月3日、白石の春の風物詩「白石市民春まつり」が3年ぶりに開催され、市内中心部が約3万8,000人の人出で久々の賑わいとなりました。

まつりのメインとなる「しろいし大行列」では、神明社の神輿渡御を先頭に、太鼓山車や大人神輿、騎馬武者や甲冑武者などが続き、約350人が参加。白石市観光大使の山崎パニラさんも駆け付け、パレードを盛り上げてくれました。

すまいるひろばエリアでは、山崎パニラさんと元ベガルタ仙台の田村直也さんによるクロストークや白石市消防団伝統階子乗り隊の演技、市内中学校吹奏楽部と白石市民吹奏楽団の演奏、市内高校生バンドによるライブなどが行われ、会場を沸かせていました。また、市内飲食事業者応援事業として行った白石マルシェ、駅前エリアでは、米俵相撲大会や白石城下商いまつり、長町・中町エリアでは、健康に関する体験ブースやよさこい走乱白石城などが演舞を披露。白石城エリアでは、片倉鉄砲隊による火縄銃演武が行われ、撃ち放ちの轟音に大きな拍手が沸き起こりました。

3年ぶりの開催となったこの日は、多くの人たちの活気と笑顔があふれた一日となりました。

待望のまつりを堪能！

白石市民春まつり

